

十和田市女性団体連絡協議会のコーナー

十和田市女性団体連絡協議会は、市内の女性団体相互の連絡協力をはかり、女性の地位向上と福祉の増進をはかることを目的に活動しています。

近年は、他市町村の取り組みを学び、今後の活動に生かそうと視察研修に力を入れています。

今年は、八戸市の「はちのへ男女共同参画推進ネットワーク」との見交換会や家計簿の創設者で知られる羽仁もと子の記念館を視察したようすを紹介いたします。



交流会のようす

「はちのへ男女共同参画推進ネットワーク」の交流事業

11月9日、八戸パークホテルで行われた交流会では、お互いに取り組んでいる活動を紹介し、楽しかったことや問題点について話し合いました。

八戸市は平成13年度に「八戸市男女共同参画基本条例」を制定し、男女共同参画宣言都市として、男女共同参画社会の実現に力を入れています。

このような中で、「はちのへ男女共同参画推進ネットワーク」は、誰もが自分らしく生きることのできる豊かで住みよい男女共同参画社会を目指し、市からの委託事業「はちのへ男女共同参画フォーラム」の開催や講演会、パネル展など組織的な取り組みを発表してくれました。

参加者は今回の交流会を通し、「もっと意識を高め、団体の連携を図って活動していこう」と誓い合いました。

用語解説

ヴィー・ウーマン
青森県が認定する農山漁村女性リーダーのこと。
Village Conductor of Womanの略称。

エンパワメント

自らの意識と能力を高め、家庭や地域、職場などあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的、文化的に力をつけること。また、そうした能力を持った主体的な存在となり、行動しようとするをいいます。

参加から参画へ

「参加」は仲間として加わることで、「参画」は、単に参加するだけでなく、企画・立案や決定にも自らの意思で関わり、意見や考えを出し、負担も責任も担い合うという主体的かつ積極的な態度や行動をいいます。

又ヒック

又ヒックとは、National Women's Education Centerの頭文字で、独立行政法人国立女性教育会館（埼玉県嵐山町）の愛称です。女性や家族に関する実践的な研修や調査研究を中



パートナーシップ
互いを自立した主体的存在として認め合い、対等な立場で連携・協力し合う関係をいい、共存・共生できる関係ともいえます。

ワークショップ
直訳すると「作業場」を意味しますが、学習活動の中でこの言葉を使う場合、「学習者が意見交換や、共同作業を行いながら進める体験型、参加型の学習方法」を意味します。

心とした事業を行っています。
ホームページアドレス
<http://www.nwec.jp/intro/index.php>

デートDV

恋人同士など親密な関係にある若者間の暴力のこと。二人の関係が親密になる。

- ・相手の交友関係や行動をしばる
- ・怒鳴ったり、暴力を振るう
- ・性行為を強要する
- ・避妊に協力しない……など、さまざまな形の暴力を含みます。

羽仁もと子記念館を見学
八戸市長横町で生まれた羽仁もと子は、雑誌『家庭の友』（後の『婦人之友』）を創刊し、自由学園を創設した教育者です。また、日本初の女性記者でした。

「サーチライト」というニックネームを持っていたほど、先見の明があつたといわれています。

記念館では、羽仁もと子の生涯を描いたビデオ鑑賞や遺品を見学し、社会に出てたくましく生きる彼女の精神について学びました。



省エネカーパーについて説明を受ける

「一緒に活動しませんか」
十和田市女性団体連絡協議会では一緒に活動する団体、個人を募集しています。

主な活動

- ・市と共催による男女共同参画社会推進講座「みんなのしゃべり場」の開催
- ・視察研修ほか

5月20日に開催された「みんなのしゃべり場」。テーマは「家庭から始めよう！男女共同参画」



構成団体

- （ア）女性会議十和田支部
- 国際ソロブチミスト十和田
- 十和田市交通安全母の会
- 十和田市食生活改善推進員会
- 十和田市女性の船の会
- 十和田市農業協同組合女性部
- 十和田市母子寡婦福祉会
- 十和田市連合婦人会
- 十和田商工会議所女性会
- 十和田地区更生保護女性会

構成団体相互の連携を図り、楽しい活動を目指しています。

問い合わせ

広報広聴課男女共同参画係
☎(23) 51111 内線159



「結ぶ」という意味のこの地域の方言「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできました。「一人ひとりの想いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

編集後記

子どもの頃、ガムの「おまけ」のシールが大好きだった。付録に惹かれて本を買ったこともある。男女共同参画の「おまけ」は新しい友人やネットワークができること。その輪は今も現在進行形で広がり、進化している。おばさんになった今でも、「おまけ」がとってもうれしい。

(秋田)

「ゆっパル」に関わるようになってからさらに多くの人との出会いが広がり、個性の楽しさやすばらしさを実感している。人は生きていく分だけ多くの友だちを持ち、人を信頼する心も広く大きい筈。というのが私の持論だが、女性は結婚すると急に友だちが少なくなると聞いた。女性も活動を生かして友だちを増やそう。

(石倉)

広報広聴課からのお知らせ



昨年7月に行われました「男女共同参画社会を進めるアンケート」の結果がまとまりました。興味のあるかたに配布します。

また、内容は一部抜粋して市のホームページに掲載していますのでご覧ください。

問い合わせ

広報広聴課 ☎ 23-5111 内線 159

ホームページアドレス

<http://www.net.pref.aomori.jp/city/towada/>

私たちが編集委員です



編集委員を務めた國分さん(左)、石倉さん(中)、秋田さん(右)

この頃、気になる呼び方をする男性が多くなってきました。それは自分の配偶者のことを「うちの奥さんが、うちのかみさんが」と言うのです。どう話したらいいのかわからないのか、知らないのか。教えてあげます。「私の妻が」と言っ

(國分)